

MST-nano2

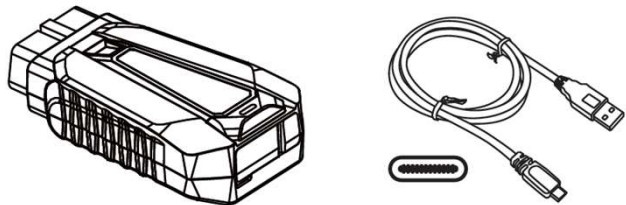
クイックスタートガイド

重要：ご使用前に必ずお読みください

この度はMST-nano2をご購入いただき誠にありがとうございます。
出荷時に診断ソフトはインストールされていません。
ユーザー登録、アップデートを行なった後にご使用ください。

1. セット内容の確認

製品がすべて揃っていることをご確認ください。

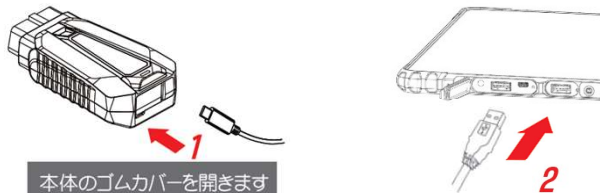


- MST-nano2 本体 (1台)
- USB Type Cケーブル (1本)
- ソフトケース (1個)
- クイックスタートガイド(本書) (1部)
- スキャンツールホットライン資料 (1部)

- ・万一、不足品や製品の一部が破損していた場合は、お買上げ日から1ヶ月以内にお買い上げの販売店へお申し付けください。
- ・セット内の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

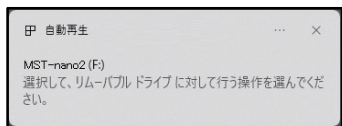
2. パソコンとの接続とファイルの表示

1. 付属のUSBケーブルを使用して本体のUSBポートとパソコンのUSBポートを接続します。



- ・パソコンとの接続は、必ず付属のUSBタイプCケーブルをご使用ください。
- ・インターネット接続されているパソコンで実施してください。

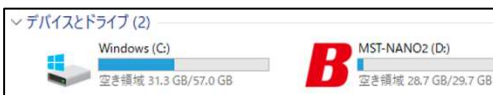
2. 本体が「MST-nano2」の名称でパソコンに認識されます。



3. 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックして本体内のファイルを表示します。

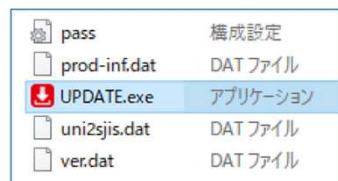


- ・自動再生が有効でない場合は、PCの「デバイスとドライブ」から「MST-nano2」を開いてください。

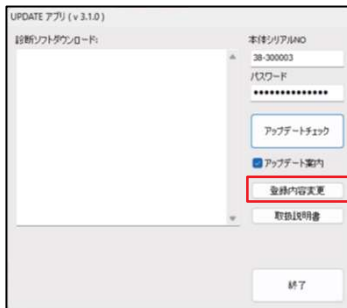


3. ユーザー登録

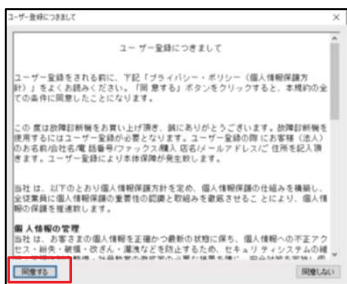
1. 表示されたファイル一覧から「UPDATE.exe」ファイル(.exeは拡張子)を開きます。
※UPDATEプログラムはWindows10以降に対応しています。



2. [登録内容変更]をクリックします。

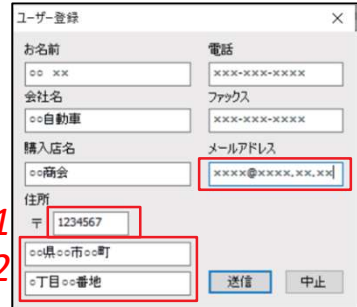


3. 「ユーザー登録につきまして」(プライバシーポリシー)が表示されます。内容を確認して[同意する]をクリックします。



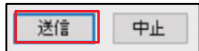
- ・同意する為にはインターネット通信を行う必要があります。
- ・「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより通信がブロックされていないか確認してください。

4. 「ユーザー登録」入力画面が表示されます。すべての入力欄にお客様の情報を入力してください。



- 1. 〒 (郵便番号) は半角、ハイフン無しで入力してください。
- 2. 住所は2行とも入力してください。
- 3. メールアドレスは半角英数で入力してください。メールによる認証作業がありますので、必ず確認できるメールアドレスを入力してください。

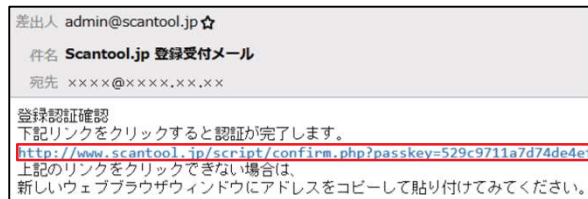
5. 入力情報に間違いがないことを確認して[送信]をクリックしてください。(未入力項目があると送信することができません)



6. 正常に送信されると「メールを確認して認証を行ってください。」のダイアログが表示されます。

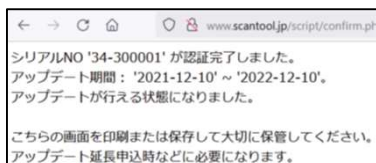
4. 登録受付メールの確認と認証

1. 送信後、入力したメールアドレス宛に登録受付メールが届きます。
2. メールの受信フォルダを確認すると「admin@scantool.jp」から「scantool.jp 登録受付メール」が届いています。
メールを開いて本文にあるリンクをクリックしてください。



- ・認証確認メールが届かない場合は迷惑メールをご確認ください。
- ・リンクをクリックしてもエラーが表示されたり、アップデート期間が表示されない場合は、登録受付メールを再度ご確認ください。お客様情報を送信された回数分登録受付メールが配信されますので、最新の登録受付メールをご確認ください。

3. リンクをクリックすると、ご使用のブラウザが起動して認証が完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。



- ・アップデート期間・本体保証期間は登録日より3年です。
- ・登録完了メールは迷惑メールフォルダに振り分けられる場合があります。

4. 以上でユーザー登録は完了です。
続いてアップデートを行い、最新のソフトを本体にインストールします。

5. アップデート

本体とPCとの接続やアプリケーションの起動は、本書の「2. パソコンとの接続とファイルの表示」を参考にしてください。

1. 「UPDATEアプリ」の[アップデートチェック]をクリックします。

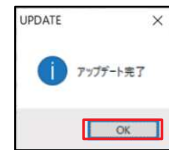


2. ダウンロードが開始され、本体内に保存されます。



- ・ダウンロード完了まで、USBケーブルを取り外さないでください。

3. アップデートが完了すると「アップデート完了」が表示されます。



- ・「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。
- ・管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認してください。

4. 以上でアップデートが完了しました。
検査用として使用する場合は、「6. BANZAI J2534 (Do IP) のインストール」にお進みください。
整備用として使用する場合は「A. MST-nano2 (整備用アプリ) のインストール」にお進みください。

- 取り外すには
「ハードウェアの安全な取り外し」を実行した後に取り外してください。

注意

セキュリティソフトについて

本体をパソコンに接続した場合や、「UPDATE.exe」(アプリケーション)を実行した場合に、セキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除、または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合は、セキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

UPDATE.exe (アプリケーション) について

万が一アプリケーションが削除された場合は、下記リンク先よりダウンロードして、本体内に保存してください。
<http://www.scantool.jp/downloads/update/UPDATE.exe>

アップデート時のエラーについて

「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが正常に行えない場合は、セキュリティソフトの設定を確認していただくとともに、本体内部メモリのフォーマットが必要な場合があります。フォーマット前にアップデート期間内であることをご確認いただき、以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

- ・UPDATE.exe (アプリケーション)
- ・pass.ini (構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

取扱説明書のダウンロードについて

取扱説明書のダウンロードは「UPDATE アプリ」の「取扱説明書」をクリックし、保存場所をご指定いただきダウンロードできます。



特定DTC 照会アプリについて

OBD 検査でご使用になるパソコンに特定DTC 照会アプリを事前にインストールしてください。詳しくは「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。

本体保証について

本体保証期間 ユーザー登録から3年間

検査用

6. BANZAI J2534 (Do IP)のインストール

アップデートが正常に完了すると、本体内にインストーラーが生成されます。

1. 本体とパソコンのUSBポートを接続し、パソコンから「MST-nano2」→「support」→「cgi」→「win-app」→「J2534-util」フォルダの順に開きます。

2. 「j2534-util」フォルダ内の「setup.exe」を実行します。

・ファイルを実行する操作については、ご使用のパソコンの設定に従ってください。

3. インストーラーが起動します。[次へ]をクリックします。



4. インストール先を確認するダイアログが表示されます。[次へ]をクリックします。

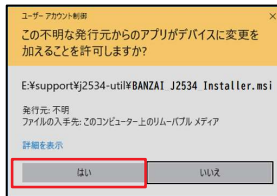


・インストール先を変更する場合は[参照]をクリックして保存先を指定してください。

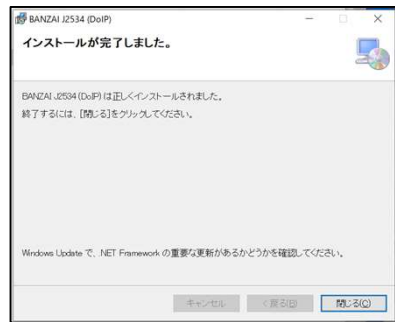
5. [次へ]をクリックしてインストールを開始します。



・右記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は[はい]をクリックして許可してください。



6. インストールが完了しました。[閉じる]をクリックして終了します。



7. インストールが完了するとデスクトップに「BANZAI J2534 DoIP VCI 設定」のショートカットが生成されます。

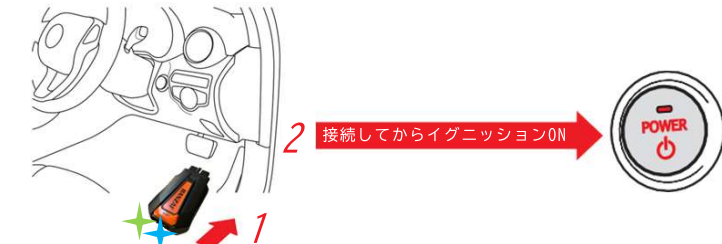


8. 有線接続の場合は「7-A」、無線接続の場合は「7-B」へお進みください。

7-A. 【有線】車両と本体およびパソコンの接続

※無線接続で検査を行う場合は「7-B. 【無線】車両と本体およびパソコンの接続」に進んでください

1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。※本体のステータスランプが緑と青に交互に点滅します。



2. 付属の USB Type C ケーブルを使用して本体の USB Type CポートとOBD検査で使用するパソコンのUSBポートを接続します。



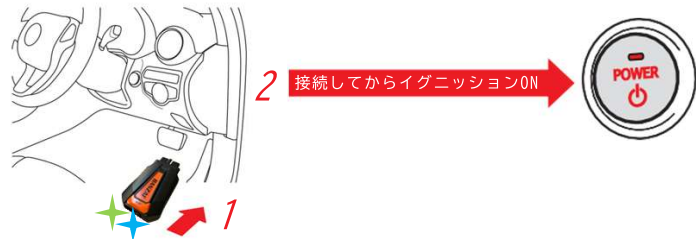
・USB Type C ケーブルは必ず先に本体に接続した後、パソコンに接続してください。順番を間違えると認識しない場合があります。

・パソコンとの接続は、必ず付属のUSB Type C ケーブルケーブルをご使用ください。
・初回接続時は「デバイスのセットアップ」ダイアログが表示され、セットアップが自動で始まります。「デバイスの準備ができました」ダイアログが表示されてセットアップが終了するまでお待ちください。

7-B. 【無線】車両と本体およびパソコンの接続

※既に整備用ソフト用としてWindowsのBluetooth設定が完了している場合は、「8. BANZAI J2534 (Do IP)で本体をパソコンに登録」に進んでください。

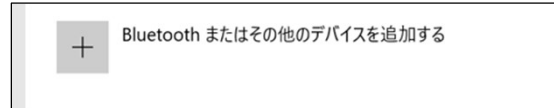
1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。※本体のステータスランプが緑と青に交互に点滅します。



2. パソコンの、Windowsマークを選択し、[設定]→[デバイス]→[Bluetoothとその他のデバイス]の順に選択します。



3. [Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する]を選択します。



4. [Bluetooth]を選択します。



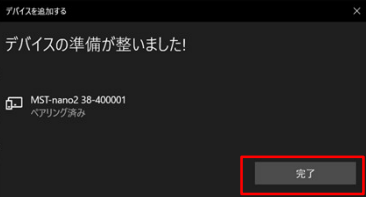
5. [MST-nano2 38-XXXXXX(Xは接続する本体のシリアル)]を選択します。

・本体のシリアル番号は本体裏面のシールに記載されています。例) S/N : 38-400001



※該当のMST-nano2が表示されない場合は、本体と車両が正しく接続されているかを確認してください。

6. “デバイスの準備が整いました！”と表示されたら[完了]を選択します。



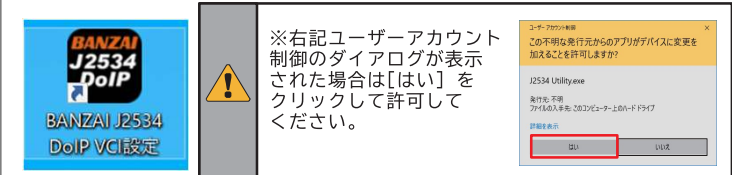
7. [その他のデバイス]に“MST-nano2 38-XXXXXX(Xは接続する本体のシリアル)”があることを確認し、画面を閉じます。

その他のデバイス

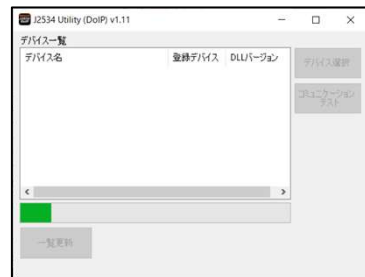
MST-nano2 38-400001
ペアリング済み

8. BANZAI J2534 (Do IP)で本体をパソコンに登録

1. デスクトップの「BANZAI J2534 DoIP VCI設定」を起動します。



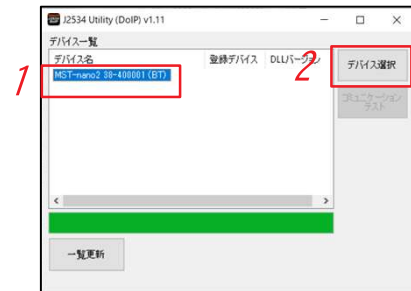
2. 接続されている本体（デバイス）の検索が開始されます。



3. 接続した本体がデバイス一覧に表示されます。

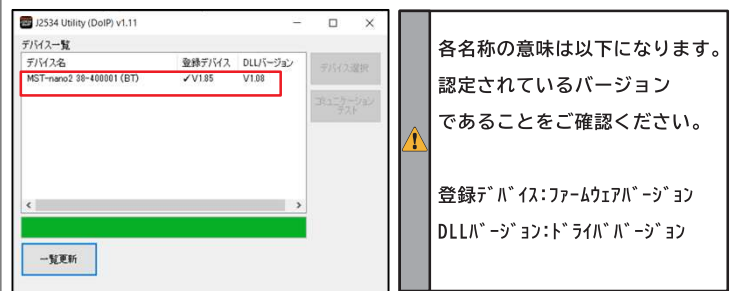


4. 接続した本体のシリアル番号とデバイス一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認して、デバイス名をクリックして選択し[デバイス選択]をクリックします。



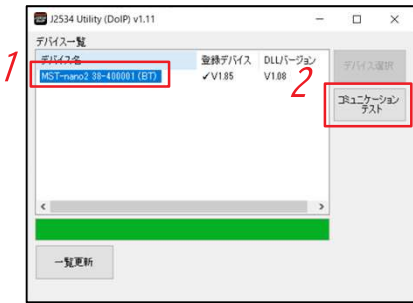
※本体とパソコンの接続方法によって以下のどちらかを選択してください。
有線で接続した場合： MST-nano2 38-XXXXXX(USB)
無線で接続した場合： MST-nano2 38-XXXXXX(BT)

5. 「登録デバイス」「DLL バージョン」欄にバージョンが表示され、接続された本体がデバイスとして登録されます。

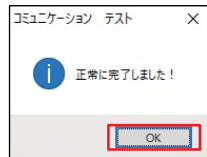


※次ページへ続く

6. 続いてコミュニケーションテストを実施します。
デバイス名をクリックして選択し【コミュニケーションテスト】をクリックします。



7. コミュニケーションテストが完了すると「正常に完了しました」ダイアログが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログを閉じ、「J2534 Utility(DoIP)」を[×]をクリックして終了します。以上でセットアップは完了です。



8. 『特定 DTC 照会アプリ』を起動して、OBD 検査を行なってください。



- ・特定 DTC 照会アプリについては 「OBD 検査ポータル」 サイトをご覧ください。
- ・セットアップが完了したデバイス名（「MST-nano2_シリアル番号（USBまたはBT）」）が特定 DTC アプリの検査用スキャンツール欄に表示されます。1 台のパソコンで複数台セットアップされている場合はプルダウンリストから現在接続されているデバイスを選択してください。

【オプション】ICカードリーダーのセットアップ

オプションのICカードリーダライタ（AB Circle Japan[®]製CIR415A-01）のBluetooth接続セットアップを行う場合は、以下の手順の通り進めてください。詳細はAB Circle Japan[®]のホームページ（<https://www.abcircle.com/jp/>）をご確認ください。

1. Windows Bluetoothドライバソフトの入手
・以下のURLからAB Circle Japan[®]のホームページへアクセスします。

URL	https://www.abcircle.co.jp/jp/product/16/CIR415A/
-----	---

・ページ下部の「Bluetooth Windows Driver インストーラ」[ダウンロード]を選択しパソコンにZIPファイルを保存します。

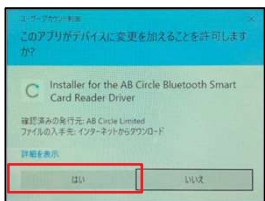


2. Bluetoothドライバソフトのインストール

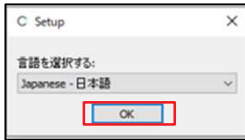
・保存したZIPファイルを解凍して、フォルダ内の“Setup.exe”を実行するとドライバソフトのセットアップが始まります。



・右記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は[はい]をクリックして許可してください。



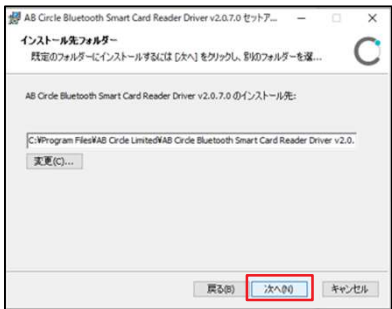
・画面の指示に従って、セットアップを進めます。
・[言語を選択する]は“Japanese - 日本語”になっていることを確認し[OK]を選択します。



・“ようこそ”画面が表示されたら、[次へ]を選択します。



・インストール先フォルダを確認し、[次へ]を選択します。



・[インストール]を選択します。



3. Bluetoothのペアリング

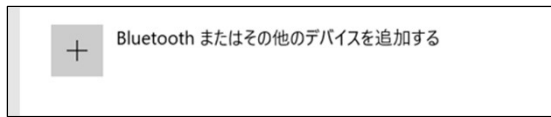
・“ブツ”と鳴るまでICカードリーダライタの電源ボタンを長押しし、電源を入れます。



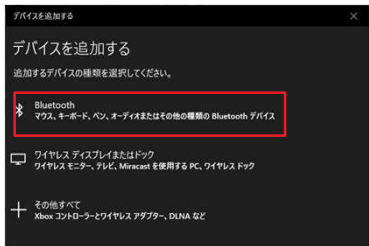
・パソコンの、Windowsマーク  を選択し、[設定 ]→[デバイス]→[Bluetoothとその他のデバイス]の順に選択します。



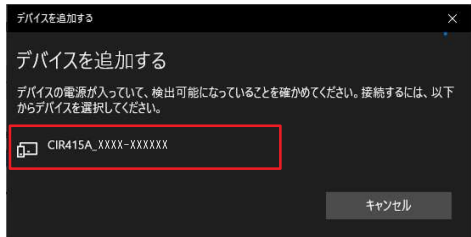
・[Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する]を選択します。



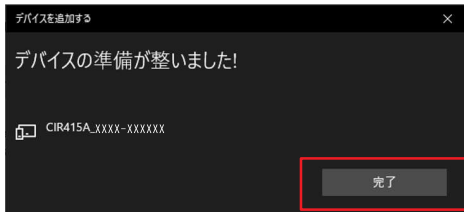
・[Bluetooth]を選択します。



・[CIR415A_XXXX-XXXXXX(Xは接続するICカードリーダライタのシリアル)]を選択します。



・“デバイスの準備が整いました！”と表示されたら[完了]を選択します。



・[その他のデバイス]に“CIR415A_XXXX-XXXXXX(Xは接続するICカードリーダライタのシリアル)”があることを確認し、画面を閉じます。



・『特定 DTC 照会アプリ』の[設定]画面の[電子車検証ICタグリーダ]から“Circle CIR415A_XXXX-XXXXXX PICC/SAM 0 (Xは接続するICカードリーダライタのシリアル)”を選択して下さい。

・電源を切る場合は“ブップブツ”と鳴るまでICカードリーダライタの電源ボタンを長押ししてください。

・使用後はICカードリーダライタに付属の USB Type C ケーブルでICカードリーダライタを充電してください。

整備用

9. MST-nano2（整備用アプリ）のインストール

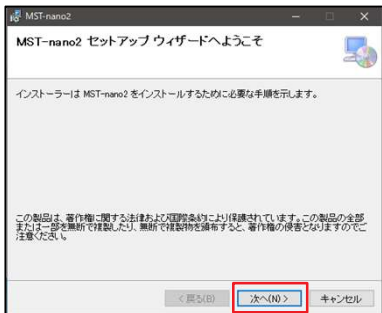
1. 本体とパソコンのUSBポートを接続し、パソコンから「support」-「cgi」-「win-app」-「MainApp」フォルダの順に開きます。

2. 「MainApp」フォルダ内の「setup.exe」を実行します。

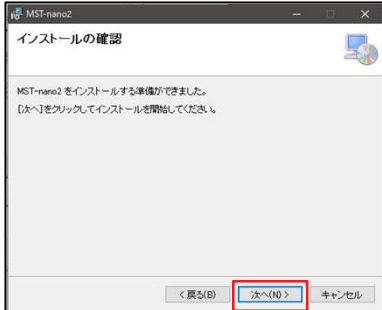


・ファイルを実行する操作については、ご使用のパソコンの設定に従ってください。

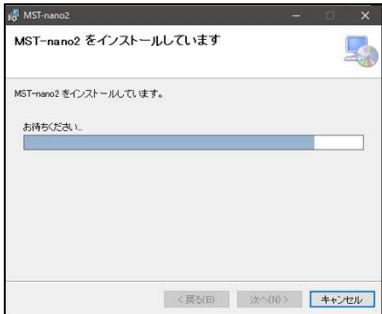
3. インストーラーが起動します。[次へ]をクリックします。



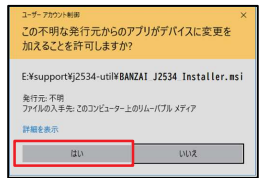
4. インストールの確認が表示されます。[次へ]をクリックします。



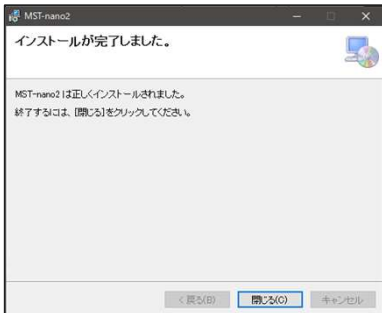
5. [次へ]をクリックしてインストールを開始します。



・右記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は[はい]をクリックして許可してください。



6. [閉じる]をクリックしてインストールを完了します。



10. 整備用アプリ画面説明

メインメニュー画面は以下3つの画面で構成されています。（左右のボタンを押すことで画面が切り替わります）



① 車両診断	各種診断を行います。
② 特殊機能	メンテナンスモード、DPF強制再生、エーミング、簡易バッテリー計測を行います。
③ ADAS	エーミング証明書の発行を行います。



④ HV/PHV/EV	電気自動車・ハイブリッド車の駆動用バッテリー診断を行います。
⑤ EDR	イベントデータレコーダー（EDR）の読込が行えます。
⑥ 更新	I/Fボックスと接続してソフトウェアの更新を行います。



⑦ 保存データ	保存した故障コードやデータモニタ、各種証明書の表示などを行うことができます。
⑧ ユーティリティ	自社情報設定や接続設定など各種設定を行います。
⑨ ユーザーガイド	各種取扱い説明書などを表示します。

ヘッダー情報

①

I/F有効期限

2024-08-25

MST-nano2

②

③

④

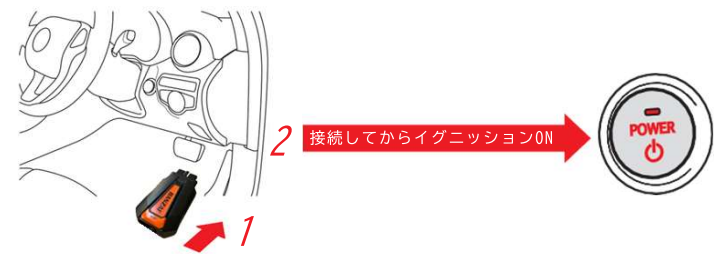
00.00 v

①	I/F有効期限	I/Fの有効期限を表示します。 ユーティリティのI/Fボックス設定で「設定済」のI/Fの有効期限を表示します。 (メインメニュー画面のみ表示)
②	スクリーンショット	タップすることで画面のスクリーンショットが行えます。
③	I/F接続状態	I/Fの接続状態が表示されます。
④	バッテリー電圧	車両バッテリー電圧の数値が表示されます。

11. 接続設定（Bluetooth による デバイス の登録）

※既に検査用としてWindowsのBluetooth設定が完了している場合は、一覧に表示された該当のI/Fボックスの接続状況が「設定済」となっております。その場合は以下の操作は不要です。

(1)車両のイグニッションSWがOFFの状態です。車両診断コネクタにデバイス本体(以下I/Fボックス)を接続します。



(2)メインメニュー画面から「ユーティリティ」-「接続設定」を選択します。

(3)自動的にI/Fボックスの検索が行われます。

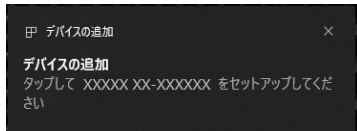


(4)「I/Fボックス名」のリストに使用するデバイスがない場合には「I/Fボックス検索」ボタンを選択して再度検索を行ってください。

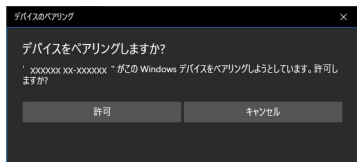
(5)ご使用のI/Fボックスが表示されたらデバイス名をタップし、「I/Fボックスに設定」ボタンを選択して下さい。



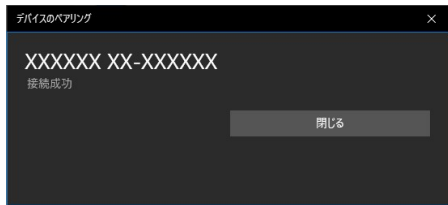
(6)初回ペアリング時のみWindowsから通知ダイアログが表示されるため選択します。（画面右下辺りに表示されます。）



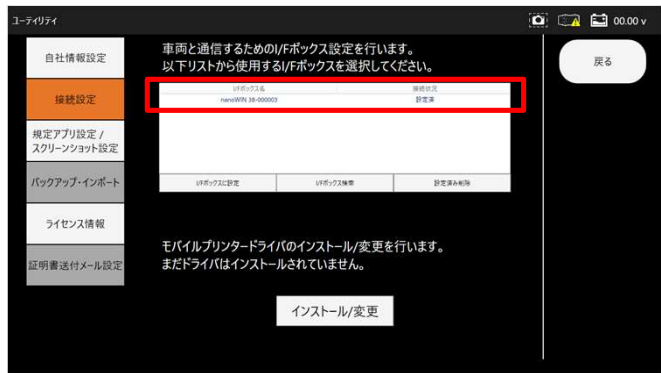
(7)許可を選択します。



(8)接続が成功すると「接続成功」と表示されるため、「閉じる」を選択します。



(9)該当のI/Fボックスの接続状況が「設定済」となりI/Fボックスの接続設定は完了となります。



12. 新規車両登録

車両のイグニッションがOFFの状態であることを確認後、以下の操作を行います。

QRコードリーダー、ICカードリーダーを使用した登録方法は取扱説明書をご確認ください。

(1)車両診断コネクタにI/Fを接続し、イグニッションをONにします。



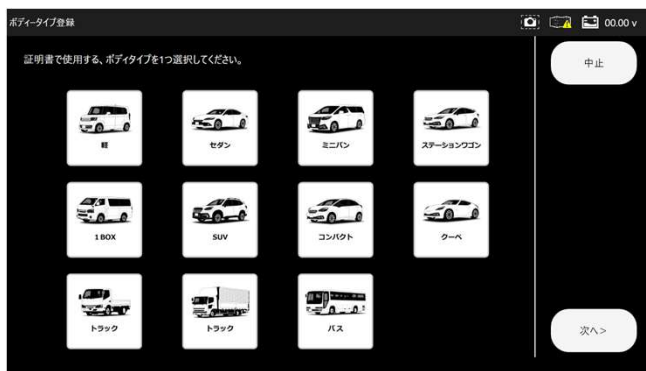
(2)ホーム画面から「車両診断」を選択します。



(3)例では手動登録をしますので、「手動登録」を選択します。

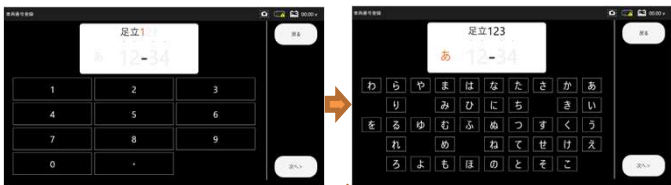


(4)対象の車両タイプを選択します。（証明書発行の際に使用されるアイコンとなります）



(5)登録番号を入力エリアから選択します。

「使用の本拠の位置①」-「分類番号②」-「事業文字③」-「一連指定番号④」を順に入力すると自動で画面が切替わります。入力欄を選択することで、その入力画面に切替えることもできます。



(6)メーカー・車種を選択します。

メーカー・車種の選択が完了したら「次へ」を選択します。



※次ページへ続く

(7)車両番号を入力します。入力完了したら「確定」をタップします。（省略も可能です）

車両番号登録

車両型式

車台番号

原動機型式

型式指定番号

類別区分番号

前前軸重(kg)

後後軸重(kg)

燃料の種類

初年度登録

有効期限の満了日

戻る

キーボード非表示

確定

(8)車両情報の登録が完了しました。

車両情報選択

車両情報の登録を行います。
[2次元バーコード登録][ICチップ登録][手動登録]から登録方法を選びます。

2次元バーコード登録

ICチップ登録

手動登録

検索

トヨタ プリウス

足立 123 あ 12-34

戻る

編集

削除

自動遷移削除

診断メニュー

13. 診断方法

診断時は基本的にイグニッションを“ON”の状態で行ってください。

(1)車両選択画面から車両情報が選択されている状態で「診断メニュー」を選択します。

車両情報選択

車両情報の登録を行います。
[2次元バーコード登録][ICチップ登録][手動登録]から登録方法を選びます。

2次元バーコード登録

ICチップ登録

手動登録

検索

トヨタ プリウス

足立 123 あ 12-34

戻る

編集

削除

自動遷移削除

診断メニュー

(2)診断メニューが表示されます。「診断」を選択します。

診断メニュー

2024/07/02 13:35:21 故障コード（エンジン）

2024/07/02 13:29:33 全自己診断

戻る

履歴削除

I/F設定

I/F情報

診断

(3)車両情報の検出方法を選択します。車両、メーカーによって、自動検出非対応があるため、その場合は手動選択を選択ください。

車両選択

自動検出

手動選択

戻る

(4)診断ソフトのメインメニューが表示されます。「診断」を選択します。

トヨタ メインメニュー

診断

カスタマイズ

作業サポート

アクティブテスト

戻る

グローバルOBDII

レディネステスト

終了

(5)例では全自己診断を行いますので、「全自己診断」を選択します。

システム選択

個別システム

全自己診断

戻る

メインメニューへ

(6)診断結果が画面左上に表示されます。詳細の確認は「診断結果」を選択します。

2 システム異常あり！

診断結果

全自己診断の消去

戻る

メインメニューへ

(7)選択したシステムの診断メニューが表示されます。確認するシステム名を選択します。

診断結果

エンジン - 2 DTC

HV - OK

モータジェネレータ - OK

レーダークルーズ1 - OK

レーダークルーズ2 - OK

ABS- VSC- TRC - OK

電動パワステ - OK

A/C - OK

エアバッグ - OK

ブリクラッシュ2 - 1 DTC

メータ - OK

戻る

保存

印刷

メインメニューへ

(8)選択したシステムの診断メニューが表示されます。)故障コードを確認する場合は「故障コードの読取」を選択します。

エンジン

故障コードの読取

故障コードの消去

データモニタ

フルーズ フルード

戻る

メインメニューへ

(9)故障コードが記憶されている場合、読取結果が表示されます。分類された各欄を選択すると故障コードが表示されます。

故障コードの読取

確定(2)

仮(2)

戻る

保存

印刷

メインメニューへ

故障コードの読取

確定(2)

P011015
吸気温センサ バンク1 + Bショート,断線(High)

P010014
エアフローメータ GNDショート,断線(Low)

仮(2)

P011015
吸気温センサ バンク1 + Bショート,断線(High)

P010014
エアフローメータ GNDショート,断線(Low)

戻る

保存

印刷

メインメニューへ

P011015

吸気温センサ バンク1 + Bショート,断線(High)

【ヘルプ】

・インタークーアラローメータSUB-ASSY(インレットエアファンパナセセンサ)

・ワイヤハーネスおよびコネクタ

・エンジンコントロールコンピュータ

戻る

アラーム

検索

その他機能の詳細については「取扱説明書をご確認ください。

MEMO

BANZAI®

株式会社バンザイ
〒105-8580 東京都港区芝2-31-19